



2020年2月17日

個人資産運用業務におけるグループ会社を活用した協働の開始について ～「千葉・横浜パートナーシップ」連携施策【Vol.6】～

千葉銀行（頭取 佐久間 英利）は、コンコルディア・フィナンシャルグループの横浜銀行（頭取 大矢 恭好）との業務提携「千葉・横浜パートナーシップ」に基づき、個人資産運用業務においてグループ会社を活用した協働を開始しました。

昨年7月に「千葉・横浜パートナーシップ」がスタートし、両行は、法人部門、個人部門の幅広い分野で協働の可能性を検討しています。今般、個人の資産運用業務において、2020年2月17日（月）より、ちばぎんアセットマネジメント株式会社（取締役社長 高城 洋一）が設定する「ジャパンESGクオリティ200インデックスファンド（愛称：ESGナビ）」の取扱いを開始しました。

ESG（環境・社会・企業統治）への関心が高まるなか、ESG関連のファンドをラインアップに加えることで、個人投資家の理解促進と投資機会の創出を図ってまいります。

ファンドの概要は下記のとおりです。

記

ファンド名称	ジャパンESGクオリティ200インデックスファンド（愛称：ESGナビ）
当初募集期間	2020年2月17日（月）～2020年3月9日（月）
設 定 日	2020年3月10日（火） ※設定日以降は通常の購入が可能
購入時手数料	購入価格に対し、2.2%（税込み）
おもな特徴	○国内株式を主要対象とし、「iSTOXX MUTB JAPAN ESGクオリティ200インデックス（配当込み）」に連動する投資効果を目指します。 ○投資するESG関連企業の市場価値向上による中長期的なリターンの獲得が期待できます。
販 売 会 社	千葉銀行、横浜銀行、武蔵野銀行、ちばぎん証券

※千葉銀行、横浜銀行、ちばぎん証券は2月17日、武蔵野銀行は3月2日より取扱い開始。

以 上